

令和2年12月18日

開進三中だより

< 第8号 >

—◆たかましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

「一日一日を大切に」

校長 岩尾 幸市

この一年、生徒は健康に留意し落ち着いた態度で生活してくれました。このことは生徒の努力はもちろんですが、保護者・地域・関係の皆様のご尽力によるものです。本当にありがとうございました。

3年生はまもなく受験を迎えますが、進路対策として生徒全員を対象に面接練習を実施しています。毎年、面接練習の中で私から生徒に中学校生活で学んだ大切なことは何ですかと質問しています。

一人の生徒は「中学校で学んだことは学習です」と答えてくれました。理由を尋ねてみると「学習から考える力、知識や技能、自分を大切にすること、人を思いやる気持ちを学びました」と答えてくれました。

同じ質問を別の生徒にしました。「私はどうしてもうまくいかないことを人のせいにしていたところがありました。学校休業期間に自分と向き合い、自分がしっかり取り組まなければいけないことを自覚した」と答えてくれました。先生や仲間にも支えられ「自分がしっかりするんだ」と自分の心に言い聞かせながら学校生活に取り組んだそうです。

二人の生徒の話から「中学校は大人になるために必要なことを学ぶ場」であることがわかります。他にも多くの生徒が上級学校の抱負について「友だちをつくって充実した学校生活を過ごしたい」「大学進学や就職に必要な学力と資格を取って将来の夢を叶えたい」と希望に満ちた話をしてくれました。一人一人の生徒の良さと成長を感じ取れる貴重な機会が進路面接でした。

中学校生活で「自立に向けて、自分で考え、責任ある行動ができる人」になってもらいたいと考え教育活動を進めています。中学校生活は本当に心も体も大きく成長する時期です。多くのことを吸収し力をつけてください。

将来（進路）は、遠い先のように思われますが、今日、明日、一日一日がつながり将来へと続いていきます。日々の小さな積み重ねを大切にし自分の道を切り開いていくことを願っています。

夢☆未来プロジェクト



11月17日（火）東京都教育委員会令和2年度オリンピック・パラリンピック教育推進事業「夢☆未来プロジェクト（自分にチャレンジプログラム）」を実施しました。2004年アテネ大会から2大会連続でパラリンピックに出場した車椅子バスケットボール選手 森 紀之 氏に

講師を務めていただきました。

前半は講話、後半は代表生徒による車椅子乗車体験と椅子に座った状態からのシュート体験を行いました。

森氏の親近感のある前向きな話に生徒は引きつけられ、生徒に対し沢山のエールをいただきました。



進路講演会



11月19日（木）本校卒業生でジャーナリストの池上 彰 氏に来校いただき進路講演会を行いました。

演題は「21世紀の君たちへ」、新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中、今私たちはどうすべきなのか、自らの経験を踏まえ我が後輩たちへ、今後の生き方の指針になるお話をさせていただきました。

オーケストラ鑑賞教室



11月27日（金）文化庁「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」の一環として海老原 光 指揮：東京ニューシティ管弦楽団の皆さんが来校し演奏していただきました。

モーツァルト作曲「フィガロ

の結婚」序曲で始まり映画音楽など多彩なプログラムで、生徒たちは素晴らしいオーケストラサウンドを身近に感じ鑑賞していました。

